

「手話言語の国際デー」 ブルー・ライトアップを実施

毎年、9月23日は、国連総会で決議された「手話言語の国際デー」です。

世界ろう連盟の呼びかけに応じ、全日本ろうあ連盟において「手話言語をブルー・ライトで輝かせよう」市民・地域・社会をひとつにチャレンジプロジェクト2025を実施。

市では、この取組に賛同し、生活のあらゆる場面で手話言語を使うことが保障され、きこえる人ときこえない・きこえにくい人がともに暮らせる共生社会の実現を目指し、9月23日に市役所を青色にライトアップしました。

※青色は、世界平和を表す「手話言語の国際デー」のテーマカラーです。



少年の主張茨城県大会 優秀賞受賞



9月26日、「少年の主張茨城県大会」が城里町コミュニティセンター・城里で開催され、猿島中学校3年生島田将吾さんが出場されました。

この大会は、120中学校10,094人から選ばれた10人が出場し、日頃抱えている思いや考えを発表するものです。島田さんは「心地よい距離感の作り方」というテーマで、SNS上だけでなく直接対面で触れ合うことが相手の距離感と自分の距離感を両方尊重することにつながり、安心や解放感を生む大切な心の拠り所になると主張し、優秀賞を受賞しました。

坂東市結婚相談員連絡協議会主催 婚活イベントを2つ開催

「夏の婚活セミナー」と「健康婚活♡太極拳2」が開催されました。

男性には小川喜代子結婚相談推進員による「会話力UPセミナー」を、女性には㈱コーセー・平和堂から講師を迎え「ポイントメイクセミナー」が実施されました。参加者の皆さんは真剣な様子で学びを深めており、

新たな出会いのきっかけとして4組のカップルが誕生しました。

また「健康婚活♡太極拳2」では、小川推進員指導のもと、実際に身体を動かすことで、心身のリラクゼーションやストレスの解消効果を実感していただき、3組のカップルが誕生しました。



市主催多文化共生 推進講演会

10月18日、茨城県国際交流協会の地域日本語教育コーディネーター羽鳥氏を講師に迎え、「多文化共生つてなあに？共に暮らすまちづくり」をテーマに講演会を開催しました。



多様性を認め合う社会に必要なである心構えや考え方を学ぶことができました。改めて相互理解の大切さを実感することができました。

【多様性社会

（ダイバーシティ社会）とは】

年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会のことです。